

情報かわらばん

田麦山に夢と誇りをつくる 500人プロジェクト通信

田麦山復興デザイン策定事業
2011.3.1-2012.2.28

2011年4月20日発行 通算3号

発行：田麦山地区連絡会 編集：田麦山に夢と誇りをつくる500人プロジェクト編集チーム

プロジェクトを見える化・現場の声が情報源・わかりやすく編集

3.11 東北地方太平洋沖 地震発生

ころもあり、心は痛むば
続いている状態のと
事故でまだ災害が
ようです。原発の

中越地震では、全国の方々から温かいご支援をいただきました。川口地域と被災地との絆をつなぎ、被災した体験を活かし、私たちができることで、被災地

被害の大きさにびっくり。ひと月が経過しましたが、中越地震の復旧とは違ってその進展はなかなか進まないようです。原発の

東日本大震災では、全国の方々から温かいご支援をいただきました。川口地域と被災地との絆をつなぎ、被災した体験を活かし、私たちができることで、被災地

巨大地震発生。津波が襲う。東日本大震災。川口地区も独自支援

東日本大震災が起きた三月十一日、その被害の大きさにびっくり。ひと月が経過しましたが、中越地震の復旧とは違ってその進展はなかなか進まないようです。原発の事故でまだ災害が続いている状態のところもあり、心は痛むばかり。しかし、その中でも中越地震の震源地である川口地域は、独自の支援ができるのではないかと動きながら、模索しているところ。田麦山の壊滅的被害から立ち直った経験が、被災地の皆さんたちに必ず役立つはず。中越大震災では、全国の方々から温かいご支援をいただきました。川口地域と被災地との絆をつなぎ、被災した体験を活かし、私たちができることで、被災地

田麦山に夢と誇りをつくる
500人プロジェクト

あなたの「夢」や「望み」を
おしえてください

田麦山地区連絡会では、震災復興デザイン策定事業におきまして、田麦山に暮らす約500人の方々の「夢」や「望み」を集め、それを小学校の校舎（現公民館）に展示するプロジェクトをスタートさせました。
こうした作業を通じて、私たちは地区内の連帯感と田麦山の誇りをつくろうと考えています。ぜひあなたの「夢」や「望み」をお聞かせ下さい。そして小学校の校舎を、文字通り、夢のある学校にしていきたいと思います。ご協力をお願いいたします。



田麦山地区連絡会
会長 内山敦夫
長門市川口田麦山 2483 番地 TEL 0258-89-3753

春、到来と一緒に『田麦山の夢と誇りをつくる500人プロジェクト』が本格的にスタートします。皆さん、準備はよろしいでしょうか。
上記のチラシ&ポスターは、田麦山に暮らす約500人の方々の「夢」や「望み」を集めて小学校の校舎（現公民館）に展示するプロジェクトがスタートしたことをお知らせするものです。あなたの「夢」「望み」をボードに書き記して、写真やパチリと撮ります。皆さんの協力なしではできないプロジェクトです。ぜひ協力して下さい。そして、小学校の校舎を文字どおり夢のある学校にしていきたいと思います。

夢と誇りをつくる500人プロジェクト本格始動！

夢で羽ばたく田麦山。夢は、見るもの？ つくるもの？ 誇りは、あるもの？ 育てるもの？ それとも、思い出すもの？ わき出すもの？ 答えはあなたの中に。

田麦山の資源調査が進んでいます。
リストづくりのためのアンケートを
とったり、マップづくり、年表づくり
を進めますので、ご協力を！

食資源調査班では、一緒に活動してくれる人を募集中。メンバーが足りないと思鳴をあげる！？

田麦山をみんなで
おもしろく。
美しく。

田麦山に
夢と誇りをつくる500人プロジェクト

田麦山に夢と誇りをつくるために
宝ものを探る



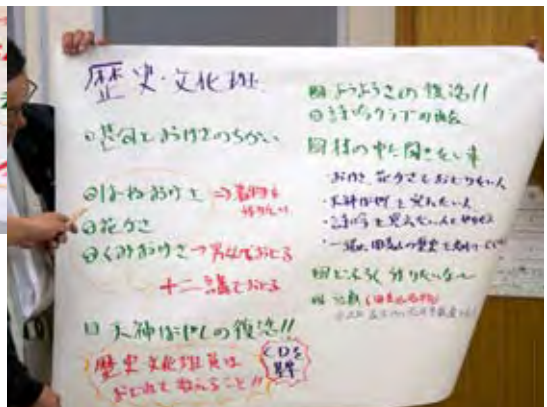
食資源調査班

山菜や野菜、保存食のリストをつくりたいと思っています。情報を広く収集するために住民の皆さんにアンケートをとる予定です。ご協力をお願いします。随時、素材を採取、撮影を進め11月の発表会で紹介し、その後、パンフレットを作成する予定です。夢と誇りをつくりあげていく上で食は地区外にも展開できる大切な資源。10月23日にオープンする「きずな館」でも発信したいと考えています。

歴史・文化資源調査班



歴史・文化資源調査班員は、踊れて歌えること！なんだそうです。あなたも仲間に入りませんか。



踊りの調査を行いました（次ページ）。川口9地区の天神ばやしを録音したCDを入手したので、田麦山の天神ばやしをみんなで復活させたいと考えています。年表作成や文化の洗い出しをやっている中で皆さんのご協力が欠かせません。ぜひ、ご協力頂きたいと思っています。また、集まってきた情報は全戸配布し、歴史を知りたい人など仲間を増やしていきたいと思っています。

自然資源調査班



自然資源調査班は、雪解けを待って本格始動。仲間になってくれる人、募集中です。よろしく～。

田麦山は広いので、既存のマップや、旧川口町で調査した資料などを、白図に落としこんで全体を把握したいと作業を進めています。また、いきいき田麦山が5月29日に実施するトレッキング大会に参加し、現地調査を始めると共に、6月4日に行なうまち歩きを本格的な現地調査としていくため、まち歩きコースを設定中です。自然スポットに関する情報をお寄せください。お待ちしております。

はねおけさの記憶。
身体が覚えていた。

みんなで踊った花笠踊り。

結婚式、建前、新築祝などのハレの日に踊られ、
かつて行われていた「演芸会」や十二講と呼ばれる山の神に感謝する祭りでも披露されていた。
生活の楽しみの一つだった。

はねおけさとくみおけさは、「小千谷おけさ」の節
に合わせて踊る。「佐渡おけさ」でも踊れるらしい。

はねおけさ、
花笠おどりを
思い出しながら
踊ってみました。

伝統芸能の踊りを調査する歴史・文化
資源調査班は、田中集落でかつてよく踊
られていたのは、はねおけさ、くみおけ
さ、花笠踊りであり、他に新保広大寺と
いう踊りもあったということがわかって
きました。実際に踊れる人に来ていただ
き、踊ってみようということに。

「どうだったかなあ」と最初は、手探
りでしたが、踊り始めると身体が覚えて
いるものです。「たしか、こう手をまわ
したんじゃないかな」など、細かな
ところもみんなで確認しながら、楽しく
踊ることができました。

継続して続けていきたいと思っていま
すので、興味のある方はぜひお問い合わせ
下さい。お待ちしております。

今後の予定

4月30日(土): 春の自然塾開催!

毎年恒例の「春の自然塾」を開催します。時間は午前11:00～。今年は大雪で雪解けが遅いため雪上でみんなで語らいを行いたいと思います。恒例の屋台も出ます。是非ともご参加ください。

5月29日(日): 田麦山トレッキング

いきいき田麦山主催。今年で3回目の「田麦山トレッキング」を開催します。新緑の中、春風を浴びながらゆっくり田麦山の自然の中を歩いてみませんか? 春の恵み「山菜」も採れるかもしれません! 詳しくは近日中に配りますチラシを見て下さい。

6月4日(土): まち歩きワークショップ

現在、地域資源調査を行っています。その現地調査も含め、地域内外から大勢の人が集まって、楽しいまち歩きワークショップを開催いたします。

田麦山の良さを実際の現場で再確認し、地域の可能性を引き出したいと思っています。今からぜひ予定に入れていおいて下さい。

※毎月定期会合(ワークショップを含む)があります。

※7月に「資源の活かし方」と題した学習会を開きます。講師は仙台の民俗研究家、結城登美雄先生を予定しています。

編集後記

田麦山には、何度かおじゃまさせてもらいました。その一回は愛知のグループが主催した七草粥をいただく日でした。また、お伺いできると楽しみにしていたら大震災。びっくりしています。(和田一良)

たいそうなこともいいけれど、「〇〇しようて」「〇〇だったらいいな」というつぶやきから、夢が生まれることもある…。みなさんの〇〇を聴かせてください。(小見まいこ)



川口サテライトを よろしくお願いします。

(財) 山の暮らし再生機構 長岡地域復興支援センター
川口サテライト
〒949-7505 長岡市川口牛ヶ島424-1 川口公民館泉水分館内
電話 0258-89-2990 FAX 0258-89-2998

震災に負けるどころか、バネにして新しい川口をつくっていききたい。川口の人ひとりがそう思っ、一歩一歩前に進むことをお手伝いしているのが『川口サテライト』の皆さんです。

集落や地域づくり団体の支援の傍ら、現在東日本大震災の被災者の支援活動でも大忙し。被災地への支援物資の受付、取りまとめ、発送のほか、長岡市に避難された南相馬市の住民の方々の不安やストレスを少しでも和らげ、元気づけたいと、地域住民に声を掛け「お話ボランティア」を募集し、川口温泉に訪れた被災者の皆さんとお茶飲みしながら話し相手になってもらう「お茶飲み話支援」を行いました。今後、さらにボランティアの輪

を広げながら東日本大震災被災地や長野県北部地震被災地(栄村)を「川口地域が一つになって支援していきたい。それも復興の一つ。」と意気込みます。

川口サテライトの事務所は、川口公民館泉水分館(旧泉水小学校)の中にあります。集落や地域づくり団体が行う地域活動の支援を中心に地域情報の発信や地域内外のネットワークづくり、都市住民との交流、地域間・集落間交流、多世代交流の促進などを進めているところです。

星野さんをはじめ、中林さん、脇田さん、春日さん、小宮山さんの五人は、大の川口好き。どこかで顔を見かけたらぜひ声をかけてください。一緒におもしろい川口、田麦山をつくっていきましょう。

プロジェクト始動! 地域づくりアドバイザー 大滝聡

皆さんのところに出かけていって、「夢」や「望み」をお聞きし、気に入った場所写真撮影をさせていただきます。ぜひこの主旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。

復興デザイン策定事業は、昨年11月12月にかけて行ったワークショップでの意見を基に事業フレームを組み立てました。①住民全員(500人)の夢や希望を集めること、②田麦山の資源を住民自らがきちんと調査すること、③田麦山公民館をみんなの復興拠点にすること、④新しい情報発信ツールを見直すこと、になります。これらを総称して、

